

オプトアウト用資料（当院ホームページ掲載用）

<p>研究課題名</p>	<p>ST 上昇型心筋梗塞患者における Orsiro stent と Ultimaster stent の血管反応の違いに関する検討</p>
<p>当センターの研究責任者</p>	<p>澤田 隆弘</p>
<p>研究目的</p>	<p>薬剤溶出性ステントの登場でカテーテル治療の成績は格段の向上を遂げたが、薬剤をステントにつなぎとめる役割をもつポリマーが原因と考えられる遅発性のステント血栓症や遅発性のステント内再狭窄は薬剤溶出性ステントを用いたカテーテル治療の大きな課題として残されている。最近になりポリマーおよび薬剤が一定の期間で消失するコンセプトを持つ第三世代の薬剤溶出性ステントが生まれた。Orsiro stent 及び Ultimaster stent はともに第三世代の薬剤溶出性ステントではあるものの、ST 上昇型急性心筋梗塞において Ultimaster stent は第二世代のステントに比してステント血栓症およびステント内再狭窄を減少させないが、Orsiro stent ではステント血栓症およびステント内再狭窄が減少することが報告された。なぜこのような違いが生じるのか詳細な機序はわかっておらず、今回我々は、近赤外線を用いて冠動脈内を詳細に観察することができる OFDI を用いることで、ST 上昇型急性心筋梗塞における Orsiro stent と Ultimaster stent の血管反応の違いを明らかにすることを目的として、本研究を実施する。</p>
<p>利用する情報</p>	<p>■対象 2018年4月1日～2019年3月31日に兵庫県立姫路循環器病センターにおいて ST 上昇型心筋梗塞患者に対して Orsiro stent 及び Ultimaster stent を用いたカテーテル治療を行った患者さんを対象とする。</p> <p>■利用情報の内容 診療情報、DPC 情報より、患者情報(例：年齢、性別、入院中や入院後の検査・治療内容)の抽出およびカテーテル治療より 12 か月後に実施した OFDI を解析し、検討する。研究に伴う追加の検査等を行わない。</p> <p>■利用情報の該当期間 2018年4月1日～2019年3月31日</p>

利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	特にありません
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	なし
お問い合わせ先	担当者名：澤田 隆弘 循環器内科 電話番号：079-293-3131
備考	